

国名	ハンガリー
公的年金の体系 保険料財源 税財源	<p>・被雇用者は賦課方式年金に加入する。</p>
被保険者 (◎強制△任意×非加入)	・強制加入 (◎)
保険料率	雇用者は社会保険税17.5%, 被雇用者は年金保険料10% 2010年の制度変更に伴い, 1998年に導入された積立方式公的年金への保険料が凍結され, その加入者が民間の年金基金に留まる手続きをとらない限り, 公的賦課方式年金に戻るようになった。年金保険料の上限はない。雇用者の年金保険料は, 2012年より社会保険税に含まれることになり, 雇用者は17.5%を納税する義務がある。
支給開始年齢	2009年に男女共62歳になり, その後段階的に引き上げられ, 2022年に65歳になる予定。
基本給付額	2018年の一人当たり平均年金受給月額は13万4,947フォリント (約5万3,979円) であり, 2018年末の平均純賃金月額の約56%に相当する。受給年金は非課税である。 ※2018年の平均レート (1フォリント=0.4円) で換算。 2020年5月26日時点のレートは, 0.34円である。
給付の構造	
所得再分配	賦課方式制度に所得再分配機能がある。
公的年金の財政方式	賦課方式⇒DB型
国庫負担	年金制度の財源は社会保険税及び年金保険料であるが, 不足分は国庫から補填される。
年金制度における最低保障	最低年金は, 2万8,500フォリント (2018年) である。 最低年金を受給するには, 保険料拠出期間20年が必要である。
無年金者への措置	ミーンズテストに基づく老齢給付が, 公的扶助として税金から支給される。
公的年金と私的年金	公的年金を補足するものとして, 任意加入の個人積立年金がある。
国民への個人年金情報の提供	国庫より国民に対して年金に関する情報が提供される。

(佐藤嘉寿子・帝京大学短期大学講師)